



極東における SARS/MERS 感染の記録

https://l-hospitalier.github.io

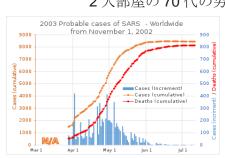
2020.2



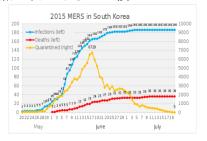
↑2003年 SARS が発生 した地域

<mark>【発端と経過】2002/11、広東州</mark>の農家の男が SARS と思われる症状で第一人民医院 へ、病因は特定されなかったが中国政府は 2003/2 まで WHO に報告せず。 このイン フル様疾患のアウトブレイクはカナダの GPHIN(Global Public Health Intelligence

Network; WHO, CDC と協力関係にある) の GOARN (Global Outbreak Alert & Response Network) が検知、WHO に報告された。 WHO は 2002/12/5 と 12/11 に 中国当局に照会。 2003/2 に WHO が対策を講じる前に約 2000 人が感染、500 人が 死亡したと推定される。一般メディアがアウトブレイクを認識したのは 2003/2 中国 に渡航したJE Salisbury(米)がシンガポールへ飛行中肺炎を発症。 飛行機はハノ イに立ち寄り、患者を**ハノイ・フレンチ・ホスピタル**に入院させたが転院先の香港で 死亡。 ハノイでは一般的なプロトコルで看護したが、この男性から複数の医療スタ ッフに 2 次感染が発生した。 寄生虫研究でフレンチ・ホスピタルにいた WHO のイ タリア人医師**カルロ・ウルバニ゛**は感染危機に気づき WHO とべトナム政府の連携を 要請、感染拡大阻止に尽力したが SARS で死去。 押谷仁は当時 WHO 西太平洋地域 感染症対策アドバイザーとしてマニラに駐在、ウルバニとメールで対策を協議した。 **2003/3/12**、WHO はグローバル・アラートを発し CDC もアラート発出(最初の疑い 患者発生から4か月後)。 感染拡大はカナダ、米、フィリピン、シンガポール、台 湾、ハノイ、香港に及び中国広東省、吉林省、河北省、湖北省、陝西省、江蘇省、山 西省、天津市、内モンゴル自治区に拡大。 この間押谷が WHO 西太平洋事務局の責 任者として対策を指揮。<mark>【香港】</mark>香港は **2003/3/29** に病院から患者集団 (コホート) の発生が報告された。 2月に香港へ到着した本土の中国人医師がインデックス・ケ ース(発端患者)。彼は九龍のメトロポール・ホテル9階に宿泊、16人を感染させた。 医師はその後死亡、SARSによる初の死者。 この時感染した宿泊客は、カナダ・シ **ンガポール・台湾・ベトナム**に向かい到着先で感染を拡大させた。 香港では**クイー ン・メアリー/プリンス・オブ・ウェールズの 2** 病院が院内感染を発生。 高層マン ション群アモイ・ガーデンズでも集団感染が発生。 この流行のインデックス・ケー スは、プリンス・オブ・ウェールズ病院で慢性腎臓病の治療を受け、アモイ・ガーデ ンズに弟を訪ねた男性。 トイレ排水システムを通じてウイルスを含んだ**エアロゾル** が感染拡大の原因と考えられるほか齧歯類やゴキブリの関与も示唆。 香港市民はウ ェブサイト sosick.org*2を立ち上げて情報交換。<mark>【カナダ】2003/2/23</mark> 香港からトロ ントに帰国しメトロポール・ホテルに宿泊した女性から伝播したルートと女性が入院 したスカボロー・グレース病院の2つのルートがある。 カナダ政府の対応は消極的 で、病院スタッフがスタッフ保護プロトコルのお粗末なのに反発して辞職、スタッフ 不足が起きカナダ政府はその後厳しい批判を浴びた。【韓国の MERS】2015/4/2 か ら 5/3 までバーレーン/中東に出張し 5/4 に仁川国際空港に帰国した 68 歳男がインデ ックス・ケース。 5/11 発症、5/15~17 平沢聖母病院入院、5/20 に MERS と確定。 当 初韓国当局は2m以内の密接接触者のみを監視対象としていたが空調から8階に感 染が拡大。最初の二次感染が隔離された翌日妻も呼吸器症状が現れ RT-PCR で確定。 2人部屋の70代の男性も20日発症、感染が確定。 5/26 隔離対象の44歳の息子が



アシアナ航空 723 便で香港へ逃亡、到着時熱と咳があるので検 疫官が「MERS 患者と接触したか」と尋ね たが否定。 5/27 韓国当局は出国を確認、 WHO 西太平洋地域事務所と中国保健当局 に通達。 7/28 一旦終息宣言が出た後、完 治したと思われた患者が再発、2015/12/24 最終終結宣言まで感染 186 例、死亡 38。



^{*1} ウルバニは学会でタイへ行く機内で発病、アジアで最も設備の良い病院の1つであるバンコク・ゼネラル病院で死去。

#231

^{*2} 2020/2/14 sosick.org 検索は香港政府の <u>https://wars.vote4.hk/cases</u> 「武漢肺炎の民族情報 (機械翻訳)」 がヒット。